



資料

株式会社エイポック
<http://www.a-poc.co.jp/>

KDC200、KDC300 Bluetooth HID の設定 Version N Rev F

第 1 章 はじめに

1-1.概要

本書は KDC と Bluetooth HID プロファイル対応機器との接続および使用方法を説明します。

1-2.対象機種

本書は表に示したバージョンについて説明します。表よりも古いバージョンの KDC は本書が説明する機能を利用できない場合があります。

対象機種	KDC200	KDC300
ファームウェアバージョン / FW	2.86.200.N	2.86.300.N
Bluetooth ファームウェアバージョン / BT FW	1.2.D(注)	1.2.D(注)

- ・ KDC の Bluetooth バージョンは Bluetooth Version 2.1+EDR 、Class2 です。

(注) 2 月下旬時点。1.0 以前→1.2.6→1.2.8→1.2.D の順で新しいバージョンになっています。

1-3.KDC のバージョン確認方法

- ・ 2つのサイドボタンを同時に押しシステムメニューを表示
- ・ System Config - Version (バージョン表示、FW:2.86.200.N など)
 - Top Menu で戻る
- ・ BT Config - FW Version (BT バージョン表示、v1.2.D など)
 - Exit - Top Menu - Exit Menu でシステムメニュー終了

1-4.KDC と接続できる機器

- ・ Bluetooth HID プロファイルに対応する以下の機器
- ・ iPad、iPhone 3GS、iPhone 4、iPod touch (それぞれ iOS4、touch は第 3 世代以降)
- ・ Bluetooth 搭載 Windows パソコン、Bluetooth USB アダプタを搭載した Windows パソコン (Bluetooth version 2.1 以上を推奨)

1-5.Bluetooth HID の利点

- ・ バーコードを読み取るとキーボード入力部にワイヤレスで入力できます。
- ・ 蓄積したデータをキーボード入力部にワイヤレスで転送できます。
- ・ 専用ソフトが不要で操作が簡単です。

1-6.Bluetooth HID の注意

専用ソフト KTSync と同期しません。ファイル形式 (xxx.txt) での転送はできません。
KDC は Normal モードのみ利用できます。カスタムアプリケーションは利用できません。
2 次元バーコードは英数データのみ入力可能です。2 バイト文字(日本語)は非対応です。

第 2 章 Bluetooth 機器との接続(ペアリング)

最初に、KDC と Bluetooth デバイスのペアリング(機器同士の認証)を行ってください。

2-1.iPad、iPhone、iPod touch

- ・ KDC の 2 つのサイドボタンを同時に押しシステムメニューを表示。
- ・ BT Config - Connect Device - **HID iOS** を選択(* を付ける)-Save & Exit - Top Menu
BT Service - Paring を選択。
- ・ iPad のスクリーンから[設定]-[一般]-[Bluetooth]-[オフ]をタップして[オン]にして下さい。



- ・ iPad の[デバイス]に”KDC200 (KDC300) [シリアルナンバー]”が表示されます。
- ・ KDC をタップして下さい。
- ・ しばらく待つと[接続されました]と表示します。KDC は”**HID Connected**”(注)と表示します。



- ・ 以上でペアリングは完了です。iPad のホームボタンを押し、設定画面を閉じて下さい。

[メモ] KDC Bluetooth version2.1+EDR(BT FW v1.2.6)以上では iPad、iPhone、iPod touch とペアリングするとき、PIN コード (パスキー、ペアリングコード) の入力はありません。

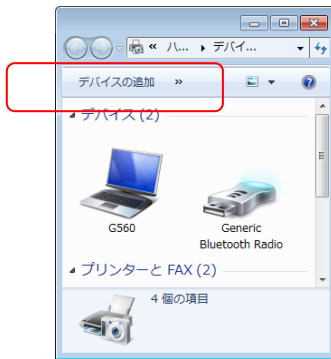
(注) KDC が”**Bluetooth Connected**”と表示した場合は KDC の設定が SPP になっています。iPad の Bluetooth-[KDC]-[このデバイスの登録を解除]をタップし、iPad から KDC を削除して、KDC を HID iOS に設定してから再度ペアリングを行ってください。

2-2.Windows 7 - OS 標準 Bluetooth ドライバ(Microsoft Bluetooth スタック)

2-2-1.パソコンの Bluetooth デバイスが Bluetooth version 2.1 または version 3.0

[メモ] Bluetooth デバイスが Bluetooth version 2.0 の場合は 2-2-2 をお読みください。

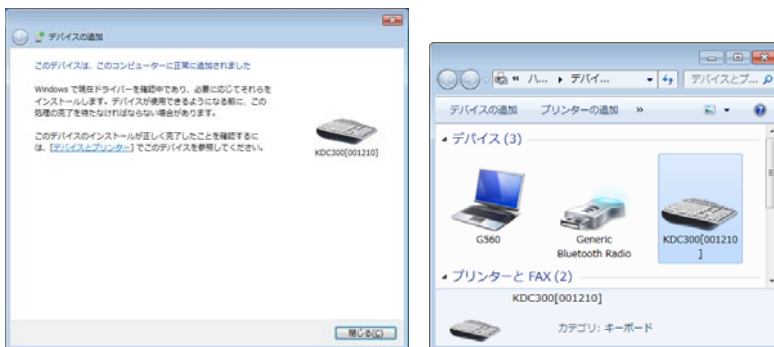
- ・ KDC の2つのサイドボタンを同時に押しシステムメニューを表示。
- ・ BT Config - Connect Device - **HID normal** を選択(*を付ける)-Save & Exit - Top Menu
BT Service - Paring を選択。KDC は"Pairing Started"と表示します
- ・ パソコンの[スタート]ボタン-[デバイスとプリンター]-[デバイスの追加]を選択。



- ・ パソコンに"KDC200 (KDC300) [シリアルナンバー]"が表示されます。
- ・ KDC を選択し [次へ]を選択。



- ・ ペアリングが完了し Bluetooth ドライバのインストールを完了します。



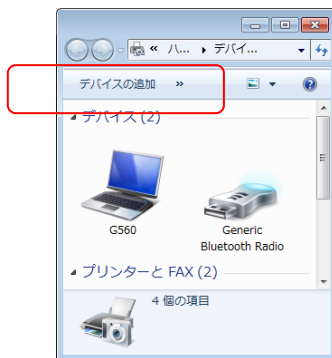
- ・ [閉じる]を選択。[デバイスとプリンター]の画面を閉じて下さい。KDC の接続設定は終了です。

[メモ] KDC Bluetooth version2.1+EDR(BT FW v1.2.6)以上と Bluetooth version 2.1、Bluetooth version 3.0 のデバイスをペアリングするとき、PIN コード (パスキー、ペアリングコード) の入力はありません。

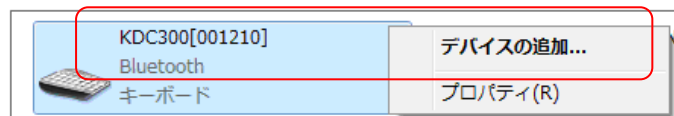
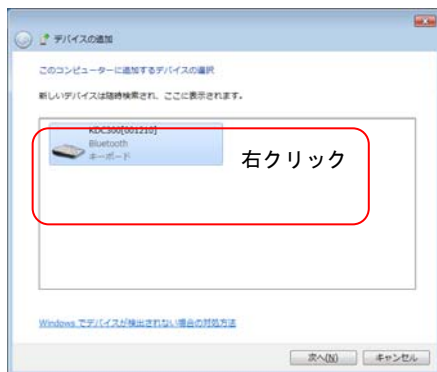
2-2-2.パソコンの Bluetooth デバイスが Bluetooth version 2.0

[メモ] Bluetooth デバイスが Bluetooth version 2.1 または 3.0 の場合は 2-2-1 をお読みください。

- ・ KDC の 2 つのサイドボタンを同時に押しシステムメニューを表示。
- ・ BT Config - Connect Device – HID を選択 (* を付ける)-Save & Exit - Top Menu
BT Service - Paring を選択。KDC は"Pairing Started"と表示します
- ・ パソコンの[スタート]ボタン-[デバイスとプリンター]-[デバイスの追加]を選択。

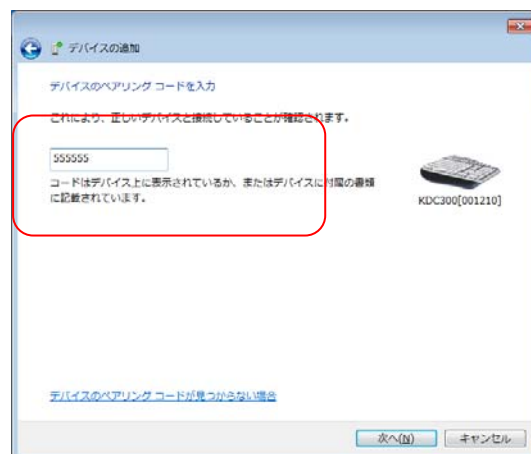


- ・ パソコンに"KDC200 (KDC300) [シリアルナンバー]"が表示されます。
- ・ KDC を右クリック-[デバイスの追加]を選択。



- ・ [デバイスのペアリングコードの入力]を選択
- ・ テキストボックスに"555555"(数字の 5 を 6 桁)を入力-[次へ]

[メモ] Bluetooth デバイスが Bluetooth version 2.0 の場合は[次へ]を選択しません。[次へ]を選択すると独自のペアリングが表示され、操作に手間がかかるため省略します。



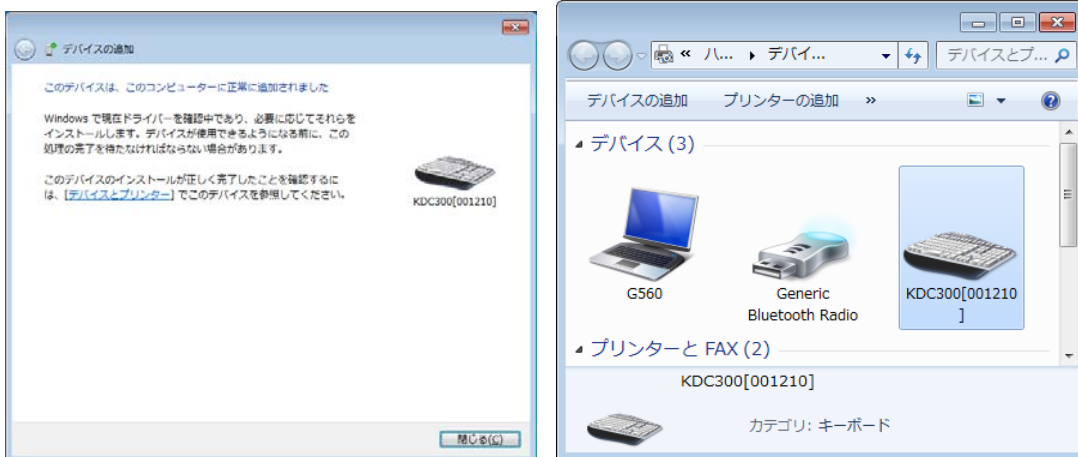
- ・ KDC のディスプレイに”6 chars Press button to exit”と表示します。
- ・ スキャンボタンを押して下さい。

6 chars
Press button
to exit

- ・ KDC のディスプレイに”5 5 5 5 5 5 Keep Pressing ScanBtn to exit”と表示します。
- ・ スキャンボタンを押し続けて下さい。

5 5 5 5 5 5
Keep Pressing
ScanBtn to exit

- ・ パソコンが Bluetooth ドライバのインストールを完了します。



- ・ [閉じる]を選択。[デバイスとプリンター]の画面を閉じて下さい。KDC の接続設定は終了です。

2-3.Windows XP - OS 標準 Bluetooth ドライバ(Microsoft Bluetooth スタック)

[メモ] Windows XP では Bluetooth version 2.0、2.1、3.0 共通です

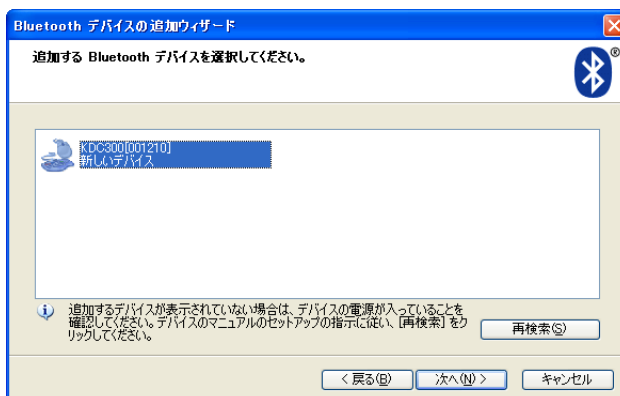
- ・ KDC の2つのサイドボタンを同時に押しシステムメニューを表示。
- ・ BT Config - Connect Device – HID normal を選択(* を付ける)-Save & Exit - Top Menu
BT Service - Paring を選択。
- ・ パソコンの[スタート]ボタン-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[Bluetooth]を選択。



- ・ [Bluetooth デバイス]-[追加]-[セットアップを完了し、デバイスは発見可能になりました]にチェック-[次へ]

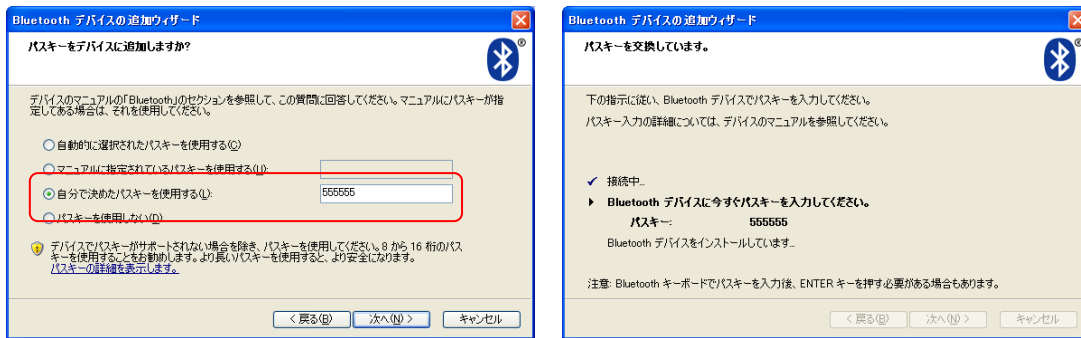


- ・ パソコンに”KDC200 (KDC300) [シリアルナンバー]”が表示されます。
- ・ KDC を選択して[次へ]。

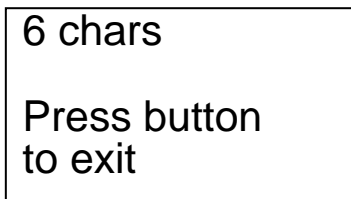


- ・ [自分で決めたパスキーを使用する]にチェック
- ・ テキストボックスに”555555”（数字の5を6文字）を入力-[次へ]

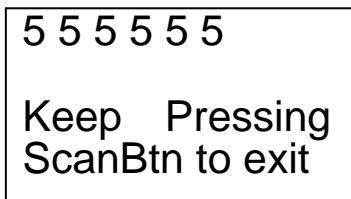
(注) 本書ではもっとも簡単な方法を説明しております。その他の方法は省略します。



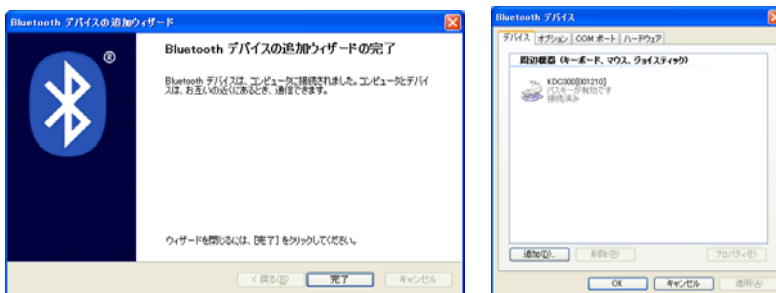
- ・ KDC のディスプレイが”6 chars Press button to exit”と表示します。スキャンボタンを押して下さい。



- ・ KDC のディスプレイが”5 5 5 5 5 5 Keep Pressing ScanBtn to exit”と表示します。スキャンボタンを押し続けて下さい。



- ・ パソコンが Bluetooth ドライバのインストールを完了します。

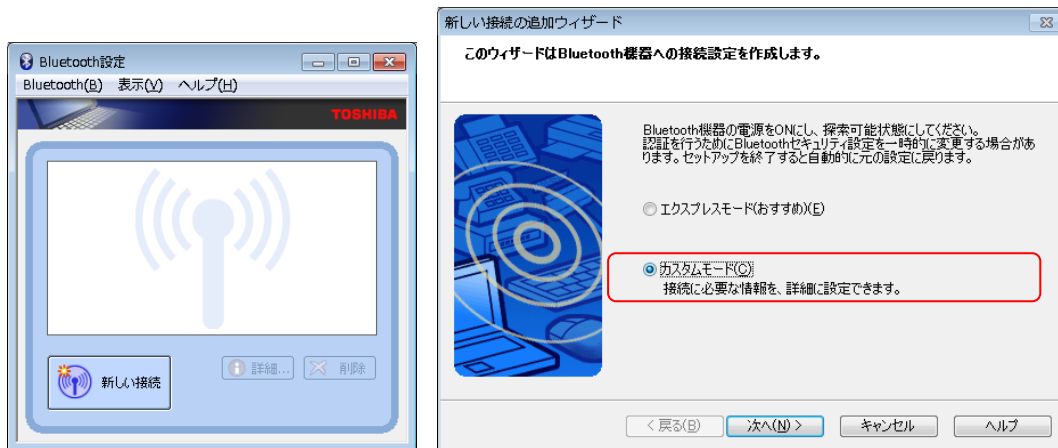


- ・ [完了]を選択。[Bluetooth デバイス]の画面を閉じて下さい。KDC の接続設定は終了です。

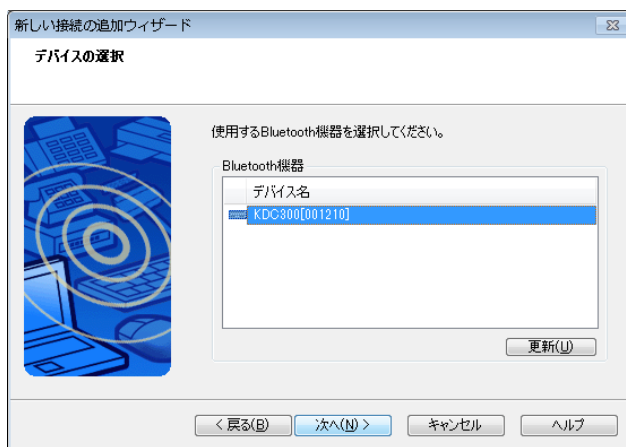
2-4. Bluetooth Stack for Windows by Toshiba

2-4-1. スタックのバージョン v6.00.05 以上、Bluetooth version 2.1 以上をサポート

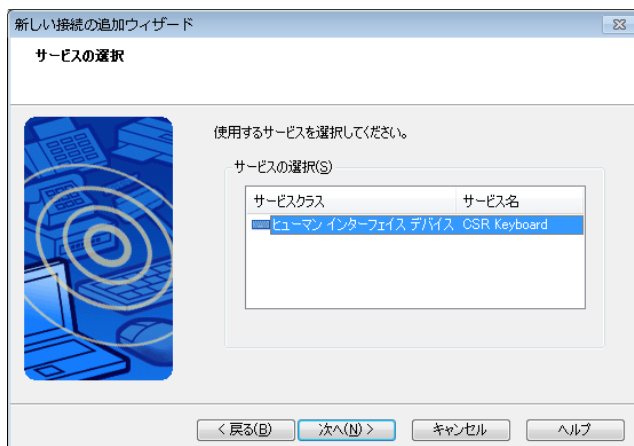
- ・ KDC の2つのサイドボタンを同時に押しシステムメニューを表示。
- ・ BT Config - Connect Device – HID を選択 (* を付ける)-Save & Exit - Top Menu
BT Service - Paring を選択。
- ・ パソコンの Bluetooth 設定ソフト (Bluetooth Stack for Windows by Toshiba) を立ち上げて下さい。
- ・ [新しい接続]-[カスタムモード]-[次へ]



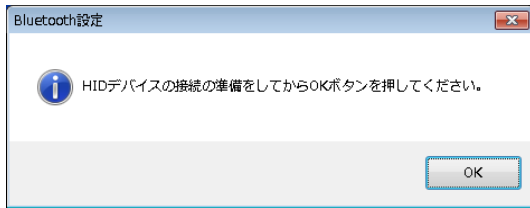
- ・ “KDC”を選択-[次へ]



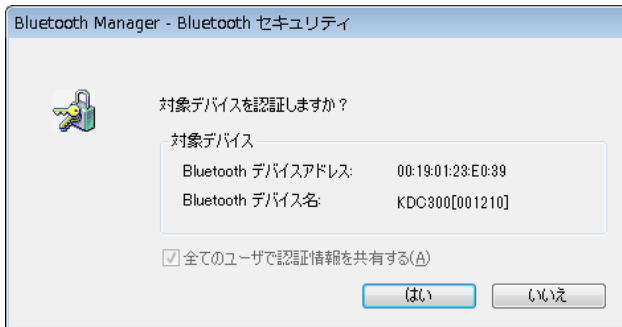
- ・ “ヒューマンインターフェイスデバイス”を選択-[次へ]



・ [OK]を選択

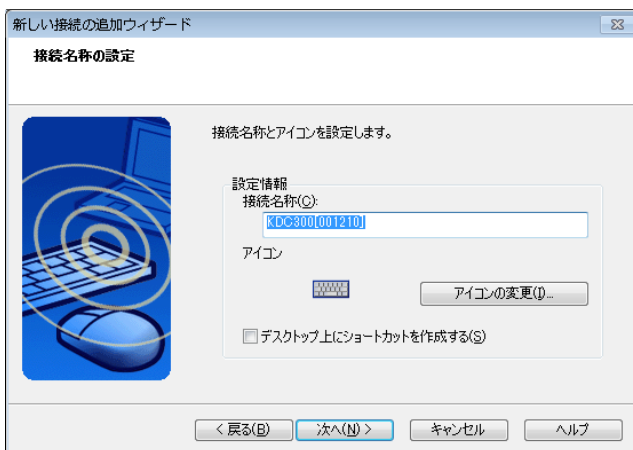


・ [はい]を選択



[メモ] KDC Bluetooth version2.1+EDR(BT FW v1.2.6)以上と Bluetooth version 2.1、Bluetooth version 3.0 のデバイスをペアリングするとき、PIN コード (パスキー、ペアリングコード) の入力はありません。

・ [次へ]を選択



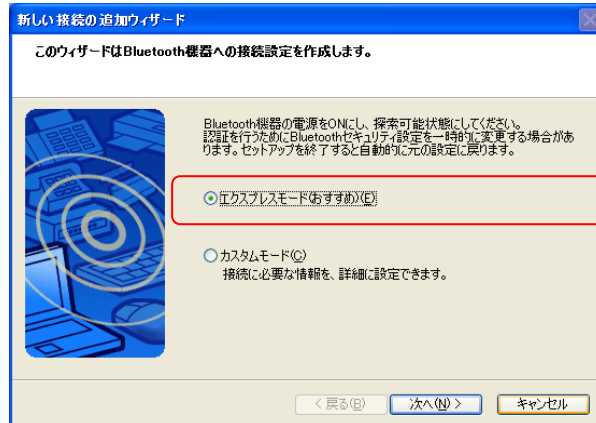
・ [完了]を選択



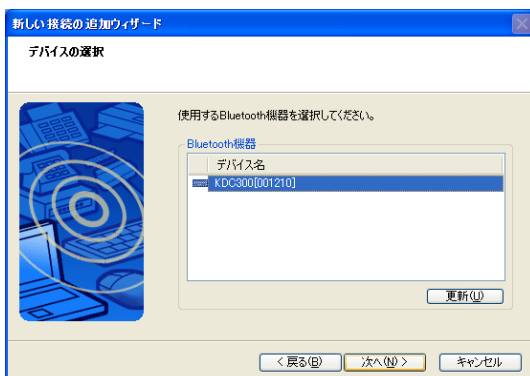
・ KDC が表示されます。画面を閉じて下さい。KDC の接続設定は終了です。

2-4-2.バージョン v5.XX.XX 以前、Bluetooth version 2.0 以下をサポート

- ・ KDC の2つのサイドボタンを同時に押しシステムメニューを表示。
- ・ BT Config - Connect Device – HID を選択(* を付ける)-Save & Exit - Top Menu
BT Service - Paring を選択。
- ・ パソコンの Bluetooth
- ・ [新しい接続]-[エクスプレスモード]-[次へ]



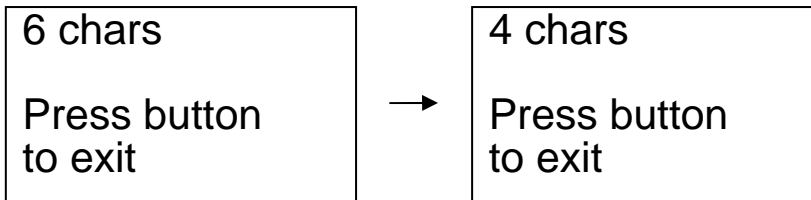
- ・ “KDC”を選択-[次へ]



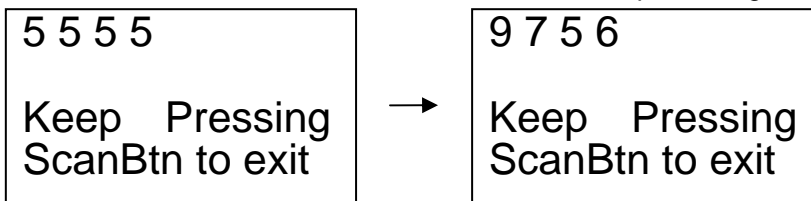
- ・ Bluetooth パスキー（PIN コード）が4～8桁で表示されます。



- ・ KDC のディスプレイに”6 chars Press button to exit”と表示します。



- ・ サイドボタンを押しパソコンが表示したパスキーの文字数と合わせて下さい。
(注)サイドボタンで文字数を変更できます。数字はアップが増え、ダウンで減ります。パソコンの画面に他の文字数を入力していた場合、変更してパスキーに合わせてください。例えばパスキーが「9756 (4 文字)」ならダウンボタンを 2 回押し、4 char に変更します
- ・ スキャンボタンを押して下さい。
- ・ KDC のディスプレイに”55555 (4 ~ 8 桁) Keep Pressing ScanBtn to exit と表示します。



- ・ サイドボタンを押して文字を変更し、スキャンボタンを押して次の桁にカーソルを移動します。すべての文字をパソコンが表示したパスキーの文字数と合わせて下さい。
(注)サイドボタンで文字数を変更できます。スキャンボタンを押すと桁が移動します。
- ・ スキャンボタンを押し続けて下さい。



- ・ KDC が表示されます。画面を閉じて下さい。KDC の接続設定は終了です。

(注) 設定ソフトのタイムアウト（時間切れ）になって接続に失敗した場合、最初からやり直してください。

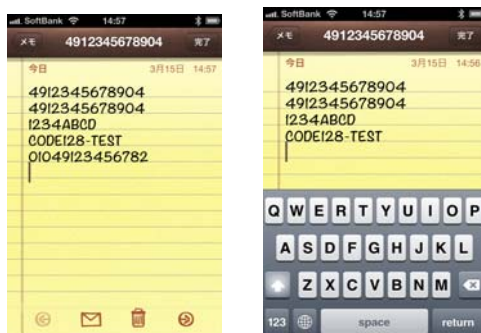
第3章 使用方法

3-1. ウェッジ入力(Wedge)

ウェッジ入力はバーコードを読み取るたびにデータを iPad やパソコンにキーボード入力します。(注)初期設定ではウェッジ入力と同時に KDC 本体にデータを蓄積(ストア)します。蓄積しない方法は第5章を参照して下さい。

3-1-1. iPad、iPhone、iPod touch

- ・ スクリーンから[メモ]などをタップして立ち上げて下さい。
- ・ スクリーンをタップし、カーソル(文字をキー入力する縦棒)を表示させて下さい。
- ・ KDC のスキャンボタンを押し、バーコードを読み取って下さい。
- ・ バーコードの文字が[メモ]に入力します。




・ オンスクリーンキーボードについて

ダウンボタンを押すたびに、オンスクリーンキーボードをオン/オフします。
オンスクリーンキーボード表示中も読み取りできます。

(注) ダウンボタンを3秒以上押し続けると Bluetooth 通信を切断します。アップボタンで再接続します。

・ キーボードの設定について

バーコードを入力するとき、 をタップしてキーボードの設定を **English(US)** に切り替えて下さい(スペースキーに一度"English(US)"と表示します)。キーボードが日本語の設定では、改行しなかったり、異なる文字で入力したりすることがあります。

・ 改行の設定について

2回改行してしまう(1行空白になる)ときはシステムメニューに入り Data Process - Terminator - **CR を選択(*をつける)** - Save & Exit - Top Menu - Exit Menu と設定して下さい。

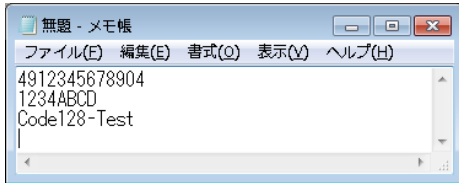
・ 自動ロックの設定について

iPad の"自動ロック"の時間と KDC の"HID Auto Lock"の時間を同じ時間に設定して下さい。iPad がスリープしたときにバーコードを読み取ると、データが破棄されることがあります。同じ時間を設定すると、iPad がスリープしたときにバーコードを読み取るとき、データの入力を1秒遅延させてデータの破棄を防止します。

- ・ iPad の[設定]-[一般]-[自動ロック]-1分(2分・・・)～しないを確認。
- ・ KDC の2つのサイドボタンを同時に押しシステムメニューを表示。
- ・ BT Config - HID AutoLock - 1、2minute(s)～Disable (1分、2分・・・～しない) を選択 - Save & Exit - Top Menu - Exit Menu

3-1-2.Windows パソコン

- ・ [メモ帳]や[Excel]を立ち上げてください。
- ・ データを入力する箇所にマウスでクリックしカーソルを表示させて下さい。
- ・ KDC のスキャンボタンを押し、バーコードを読み取って下さい。
- ・ バーコードの文字が[メモ帳]や[Excel]に入力します。



- ・ **キーボードの設定について**

バーコードを入力するとき、キーボードの設定は Windows 7 は[半角英数(P)]、Windows XP は[直接入力]に切り替えて下さい。IME のツールバーまたは、Alt キー+半角/全角キーで切り替えます。その他の設定（ひらがな、全角英数など）では、改行しなかったり、異なる文字で入力したりすることがあります。

KDC が英語キーボード配列のため、一部の記号は正常に入力できません。英字、数字、ハイフン - は利用できます。

- ・ **改行の設定について**

2 回改行するとき（1 行空白ができるとき）は、システムメニューに入り、Data Process – Terminator – CR を選択(*をつける) – Save & Exit – Top Menu – Exit Menu と設定して下さい。

3-2.同期(HID Sync)

同期は KDC に蓄積したデータをまとめてキーボード入力で転送する方法です。

- ・ ウェッジ入力と同様に[メモ]や[メモ帳]を立ち上げ、データを入力する準備をして下さい。
- ・ KDC の 2 つのサイドボタンを同時に押しシステムメニューを表示。
- ・ BT Service – HID Sync を選択。蓄積したデータを転送します。終了すると KDC は通常運用画面に戻ります。

同期した後も KDC にデータが蓄積しています。消去する方法は第 6 章を参照して下さい。

- ・ データごとの終端文字（ターミネーター）は CR（Return、Enter）です。

(注)同期(HID シンクロ)は、ファームウェアバージョン I 以前は iPad、iPhone、iPod touch に対して正常動作しません。ファームウェアバージョン M 以後が対応します。

第 4 章 Bluetooth 通信の切断と接続

バッテリーの消費を抑えるため、長時間使用しないときは KDC の Bluetooth 通信を切断して下さい。切断後は、しばらくすると自動的に Bluetooth 電源がオフになります。

4-1. Bluetooth 通信の切断

ダウンボタンを 3 秒以上押すと、Bluetooth 通信を切断し、KDC は”HID Disconnected”と表示します。

4-2. Bluetooth 通信の接続

アップボタンを押すと、Bluetooth 通信を接続し、KDC は”HID Connected”と表示します。

4-3. Bluetooth 電源のオートパワーオフ

- ・ KDC は Bluetooth 通信が切断した後、5 分後に Bluetooth 電源を自動的にオフにします。(オートパワーオフ)。
- ・ Bluetooth 通信が接続中はオートパワーオフになりません。
- ・ Bluetooth 電源がオフになるとピーとブザー音が鳴ります。
- ・ Bluetooth 電源がオフになった後、アップボタンを押すと Bluetooth 通信を接続します。
- ・ Bluetooth 電源のオートパワーオフの時間を調節するにはシステムメニューに入り、BT Config – PWR OFF Time – 5 minite(s) を 1~30(分)の範囲で設定- Save & Exit - Top Menu - Exit Menu として下さい。

4-4. Bluetooth 電源を手動でオフ

- ・ システムメニューに入り、BT Service – Power – Disable - Save & Exit - Top Menu - Exit Menu として下さい。

第 5 章 蓄積の設定

5-1.蓄積の設定

- ・ KDC の 2 つのサイドボタンを同時に押しシステムメニューを表示。
- ・ Data Process - Wedge/Store (ウェッジストア) - 以下から選択 – Save & Exit – Top Menu – Exit Menu。
- ・ Wedge/Store の選択オプションと意味は下記の通りです。

選択オプション	意味
Wedge Only	ウェッジ入力のみする。蓄積しない。
W&S Always	ウェッジ入力する。同時に蓄積もする<初期設定>。
Store Only	蓄積のみする。ウェッジ入力しない。
Save If Sent	iPad や PC と接続中ウェッジ入力する。蓄積する。切断時は蓄積しない。
SaveIfNotSent	iPad や PC と接続中ウェッジ入力する。蓄積しない。切断時は蓄積する。

5-2.蓄積したデータを消去する方法

5-2-1. 蓄積したデータを 1 件ずつ選択して消去

- ・ KDC の 2 つのサイドボタンを同時に押しシステムメニューを表示。
- ・ View Data - サイドボタンを押し蓄積データを選択 - Delete & Exit (消去して戻る) - Top Menu - Exit Menu

5-2-2. 蓄積したデータをすべて消去

- ・ KDC の 2 つのサイドボタンを同時に押しシステムメニューを表示。
- ・ System Config – Reset Memory - Memory – Yes & Exit - Top Menu - Exit Menu

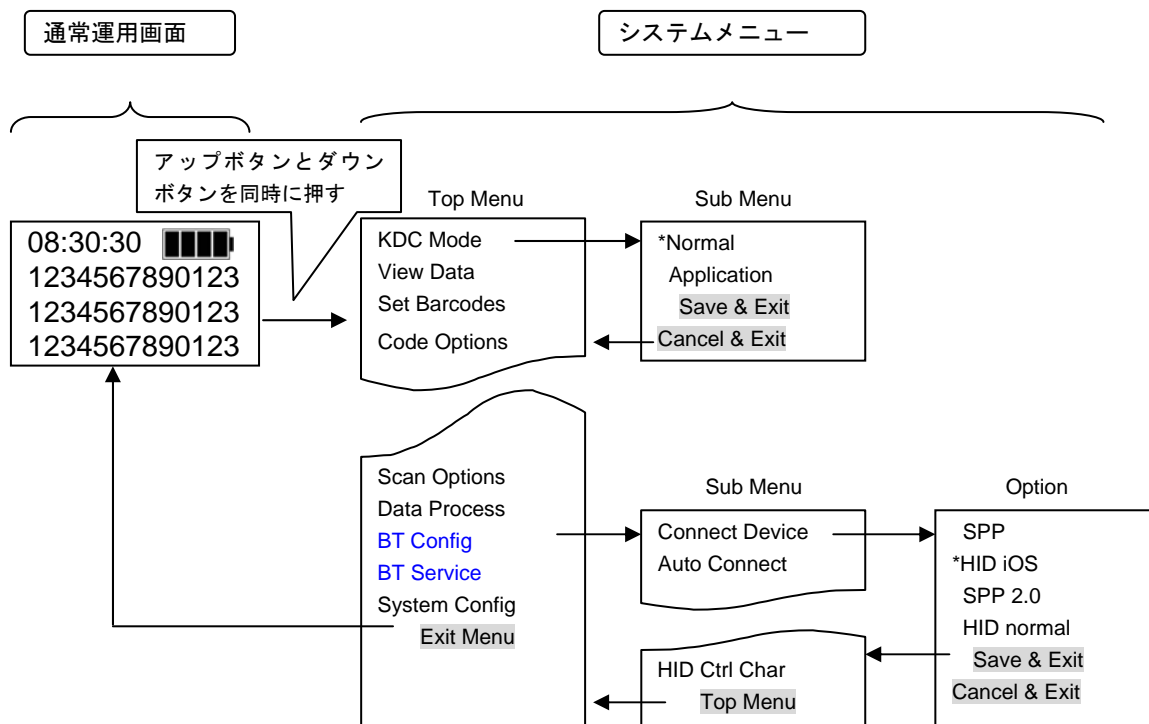
5-2-3. メモリがいっぱいになると自動的に蓄積したデータをすべて消去

- ・ KDC の 2 つのサイドボタンを同時に押しシステムメニューを表示。
- ・ System Config – Auto Erase –Enabled を選択– Top Menu - Exit Menu

第 6 章 Bluetooth のシステムメニュー詳細

この章は CD 収録のユーザーズマニュアル「13. Bluetooth」の内容を加筆修正したものです。差し替えてお読み下さい。基本的な説明は製品付属 CD のユーザーズマニュアルをご覧ください。

図：システムメニュー中の画面の遷移



BT Config (Bluetooth Config)

Connect Device

KDC が接続する Bluetooth 機器との通信方法（プロファイル）を設定します。初期設定は SPP です。

・ SPP (初期設定)

Bluetooth version 2.1 準拠の SPP(シリアルポート プロファイル)で接続します。

ペアリング時に PIN コードが不要です。

(注) Android OS2.x 系の端末で SPP がうまく動作しない場合は SPP2.0 の設定をお試し下さい。

・ HID iOS

iOS 用の HID(ヒューマンインターフェイスデバイス)プロファイルで接続します。

KDC は iOS 機器に Bluetooth キーボードとして認識されます。

ダウンボタンでオンスクリーンキーボードのオン・オフができます。

(注) 古いバージョンにはこの機能はありません。

・ SPP 2.0

Bluetooth version 2.0 準拠の SPP(シリアルポート プロファイル)で接続します。

ペアリング時に PIN コードが必要です。

(注) Bluetooth ファームウェアについて：KDC200 は 1.2.8 以上、KDC300 は 1.2.D 以上が対応。

・ HID normal

HID(ヒューマンインターフェイスデバイス)プロファイルで接続します。

KDC はホストの Bluetooth デバイスに Bluetooth HID キーボードとして認識されます。

(注) Bluetooth ファームウェア 1.2.6 以上がサポートします。

以前のファームウェアバージョンには「HID」と表示されています。

Auto Connect

KDC が使用可能なとき(Bluetooth の電源がオン時)に、ホストから接続要求があった場合、自動的に Bluetooth の接続を行います。使用する Bluetooth ドライバによってはこの機能は動作しない場合があります。初期設定は Disable です。

(注)Auto Connect が Enable の設定、system の Sleep Timeout が 5 秒の設定で、Bluetooth power が ON かつ Bluetooth が切断(disconnected)されているとき、KDC は 2 分間に 10 回、自動的にホストへの接続を試みます。

Auto Power On

Bluetooth の電源オンの設定です。Auto Power Off によって Bluetooth の電源が切れたとき、スキャンボタンを押すと Bluetooth の Power がオンになります。初期設定は Disable です。

(注)ホストの Bluetooth デバイスの COM はオープンにしていなければなりません。

・ Power On Time

スキャンボタンを押して Auto Power On の機能が実行するまでの時間を 1～10 秒で設定します。初期設定は Disable です。

Auto Power Off

Bluetooth の自動電源オフの設定です。初期設定は Enable です。初期設定のまま使用することを強く推奨します。Enable に設定すると、PWR OFF Time で設定した時間内に KDC が Bluetooth デバイスと接続できなかった場合に Bluetooth パワーを自動でオフにします。

・ Beep Warning

ブザー警告の設定です。許可、禁止を設定できます。初期設定は Enable です。Enable に設定すると Bluetooth の状態を通知するブザーが鳴ります。

次の場合に 1 回の短い高音か低音のブザーが鳴ります。

- ・ 高音 : Bluetooth デバイスと接続
- ・ 低音 : Bluetooth デバイスと切断

次の場合に 5 回の短いブザーが鳴ります。

- ・ Beep Warning を許可に設定したとき
- ・ Auto Power Off を禁止に設定したとき
- ・ KDC がホストの Bluetooth デバイスから切断されたとき
- ・ Bluetooth がパワーオンのとき

次の場合に長いブザーが鳴ります。

- ・ Auto Power Off の機能によって Bluetooth パワーがオフになったとき

・ Power OFF Time

Auto Power Off の時間を設定することができます。
1 分から分単位で 30 分まで設定可能です。初期設定は 5 分です。

Power Off Msg

パワーオフ時のメッセージ表示設定です。初期設定は Disable です。

MAC Address

KDC の Bluetooth MAC アドレスを表示します

FW Version

KDC の Bluetooth ファームウェアのバージョンを表示します。

Wakeup Nulls

Enable にすると、接続先の Bluetooth 機器が立ち上がるためデータの最初に空データ (Null を3つ) を送信します。初期設定は Disable です。接続先の機器がこのデータを不要なら、Disable に設定してください。

BT Toggle

Connect Device で HID iOS か HID normal を選択したときにのみ使用可能です。Enable に設定すると、KDC が Bluetooth デバイスと HID プロファイルで接続時、サイドボタンを押すことで Bluetooth の切断と接続を切り替えることができます。サイドダウンボタンで切断し、サイドアップボタンで再接続します。初期設定は Enable です。

設定	モード	アップボタン	ダウンボタン
Enabled	HID iOS	Bluetooth が切断している場合、最後に接続していたデバイスと再接続します。	ソフトウェアキーボードのオン・オフの切り替え。
	HID normal		3秒以上押すと Bluetooth を切断します。
Disabled		Bluetooth 接続ステータスをディスプレイに表示します。	KDC の日時をディスプレイに表示します。

HID AutoLock

iPhone/iPod/iPod touch 用の設定で、KDC が HID のときの機能で、iPhone を自動的にオンにしてデータの破棄を防止する機能です。iPhone などがスリープ中に KDC が Bluetooth でデータ送信するとデータは破棄されます。KDC の Autolock time の設定を iPhone の自動ロック (設定-一般-自動ロックをタップ) と同じ設定にします。Autolock time を 1 分以上に設定すると、データを転送する前に 1 秒の遅延を生じさせ、バーコード読み取りの時間間隔は Autolock time の時間より大きくなります。

初期設定は 0 (iPhone はスリープしない)、設定範囲は 0,1,2,3,4,5,15 分です。

HID Keyboard

HID用の設定で、キーボードレイアウトを設定します。US(English), German, French, Spanish and Italian から選択します。初期設定はUSです。

HID Delay

HID 用の設定です。HID で通信するとき、ホスト機器によってはデータの取りこぼし(バーコードデータの文字抜け)が発生します。データ送信を遅延させ、取りこぼしを回避するための設定です。

・ Initial Delay

初期設定はDisable、設定範囲は1,2,3,5,10秒です。データを送信する前に設定した時間の遅延が生じます。

・ Char. Delay (Inter-Character Delay)

初期設定はDisable、設定範囲は10,20,30,50,100ミリ秒です。データの1文字ごと間に設定した時間の遅延が生じます。

HID Ctrl Char

KDC が HID のときの、の ASCII の 0x00 から 0x1F までの制御文字の送信方法です。初期設定は Disable です。

・ Disable

制御文字をそのまま送信します。(注)通常、HIDではASCIIの制御文字は無効です。

・ Alt+Numpad

(この機能は現在利用不可です)

・ ^+Character

(この機能は現在利用不可です)

BT Service

Power

Bluetooth 電源の設定です。Enable に設定すると Bluetooth を使用できます。Bluetooth は非常に電力を消費するので、Bluetooth を使用しない場合は Disable に設定することを強く推奨します。初期設定は Disable です。

Pairing

Bluetooth デバイスとペアリングを開始します。
(注)KDC が SPP のとき、KDC は SPP スレーブ(クライアント)となります。KDC を SPP マスター(サーバー)としてペアリングするには、下記の Discovering を選択して下さい。

Discovering

この機能を実行すると、約 30 秒間、周囲の Bluetooth デバイスを検索し、発見するとリストに表示します。また、ソフト KTSync の[File]メニュー-[Bluetooth]オプションであらかじめ KDC に登録した Bluetooth デバイスを検索します。
(注)KDC が SPP のとき、KDC は SPP マスター(サーバー)となります。

Connecting to

設定ソフト KTSync の[File]-[Bluetooth]オプションで KDC に登録した Bluetooth デバイスを選択します。登録後に Connecting to を選択すると、登録した Bluetooth デバイスの名前を表示します。Bluetooth デバイスの名前を選択すると接続を開始します。詳細は KTSync プログラムの[File]-[Bluetooth]の説明をお読み下さい。

HID Sync

KDC を HID プロファイルで接続時に、この HID Sync オプションを実行すると蓄積データを Bluetooth HID でホストに転送します。

第7章 困ったときは

症状	原因	対策
iPad、iPhone、iPod touch にデータ入力しなくなった。	Bluetooth 通信が切断された。	KDC のアップボタンを押し、Bluetooth 通信を接続して下さい。
	iPad などの Bluetooth がオフになっている。	iPad などの Bluetooth をオンにしてください。KDC のアップボタンを押し、Bluetooth 通信を接続して下さい。
バーコードデータが異なる文字になる。 「A」が「あ」になるなど	キーボードの設定が日本語入力モードになっている。	iPad などはオンスクリーンキーボードを US(English)に切り替えて下さい(p12)。パソコンは直接入力に切り替えてください(p13)。
2 回改行する	KDC のターミネーターの設定が CR+LF になっている。	ターミネーターを CR に設定して下さい。KDC のシステムメニューに入り Data Process-Terminator-CR を選択 (* をつける)-Save&Exit-Top Menu-Exit Menu
KDC がバーコードを読み取らなくなった。 Buffer Full と表示する。	KDC のメモリが蓄積データでいっぱいになった。	蓄積データを削除して下さい。KDC のシステムメニューに入り System Config-Reset Memory -Memory-Yes&Exit-Top Menu-Exit Menu または、蓄積しないように設定して下さい。KDC のシステムメニューに入り Data Process-Wedge/Store-Wedge Only を選択 (* をつける) -Save&Exit-Top Menu-Exit Menu